



「2020年に向けた実行プラン（仮称）」の策定に向けて

～ コンセプトと主要政策の方向性 ～

平成28年11月
東京都



目 次

● 実行プランの策定について		P 3
● プランの策定コンセプトについて		P 4
● セーフ シティの主要政策の方向性		P 5
● ダイバーシティの主要政策の方向性		P 8
● スマート シティの主要政策の方向性		P 12
● 分野横断的な政策の展開		P 16
● 「Beyond2020」東京の未来に向けて		P 17
● プランの策定スケジュール		P 18

「2020年に向けた実行プラン（仮称）」の策定について

- 東京都は、平成26年12月に策定した「東京都長期ビジョン」に基づき、東京の都市力や都民生活の向上に繋がる様々な取組を展開しています。
- 一方で、子育てや介護への不安の解消、女性・高齢者・障害者をはじめ誰もが活躍できる社会の実現、首都直下地震への備え、環境政策の一層の推進など、東京を取り巻く社会経済情勢や都民の皆様のニーズは日々変化、そして多様化しており、今まさに都民ファーストの都政が求められています。
- また、先般のリオデジャネイロ2016オリンピック・パラリンピック競技大会では、世界の多くの人々をスポーツの感動と平和の喜びが包み込み、次の開催都市である東京への注目や、大会開催の気運が高まりをみせています。
- こうした中、東京都は、東京が抱える課題を迅速かつ的確に解決へと導いていくと同時に、4年後に控えた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功とその先の東京の未来への道筋を明瞭化し、東京の更なる成長を創出していかなければなりません。
- そこで、今回、都民ファーストの視点に立った、今後の都政の具体的な政策展開を示すため、新たな4か年の計画として、「2020年に向けた実行プラン（仮称）」を策定することとしました。

都民の皆様からのご意見やアイデアを募集するため、今回、プランのポイントとなる事柄を「コンセプトと主要政策の方向性」として、できる限り分かりやすい表現で取りまとめました。

「2020年に向けた実行プラン（仮称）」の策定コンセプトについて

意義

「3つのシティ」を実現し、「新しい東京」を創り上げる

計画期間：平成29（2017）年度～平成32（2020）年度

- ◆ 都民ファーストの視点に立った、今後の都政の具体的な政策展開を示します。
- ◆ 社会経済情勢の変化に着実に対応するとともに、東京2020大会の成功とその先の東京の未来への道筋を明瞭化します。
- ◆ 東京都長期ビジョンが示す政策の大きな方向性を継承しつつ、東京が抱える課題の解決や東京の更なる成長創出に資する、新規性・先進性を持つ政策を積極的に立案します。

体系・コンセプト

新しい
東京

- ① 誰もが安心して暮らし、希望と活力を持てる東京
- ② 成長を生み続けるサステナブルな東京
- ③ 日本の成長エンジンとして世界の中で輝く東京

3
つ
の
シ
ティ

セーフ シティ もっと安心、もっと安全、もっと元気な首都・東京

ダイバーシティ 女性も、男性も、子供も、シニアも、障害者もいきいき生活できる、活躍できる都市・東京

スマート シティ 世界に開かれた、環境先進都市、国際金融・経済都市・東京

東京
2020
大会
の
成
功

多
摩
・
島
し
よ
の
振
興

セーフ シティ もっと安心、もっと安全、もっと元気な首都・東京

都民の毎日の生活を守る、様々な災害から都民の命や財産を守る、そして、活気と賑わいにあふれる自分たちのまちに愛着と誇りを感じあえる東京をつくります。

- 安全・安心は、都民の希望と活力の大前提となるものです。都民の生活、命、財産がしっかりと守られ、その安心感が、東京の活気と賑わいを生み出します。そして、一人ひとりが、活気あふれるまちに愛着と誇りを感じ、自ら率先して地域の安全・安心を守っていくことが、安全・安心・元気な“セーフ シティ”の目指すべき姿です。
- 首都直下地震や異常気象をはじめとする様々な災害リスクに対して、耐震化・不燃化、無電柱化、河川の整備などの取組を進めます。同時に、消防団、町会・自治会などを活性化し、地域で助け合う取組を強固なものにします。
- 東京2020大会に向けたテロ対策や身近な犯罪の防止などにより、治安の良さや生活の安心を実感できる安全な都市を実現します。
- 賑わいや活力があふれる地域社会をつくるため、商店街の振興や多摩・島しょ地域のまちづくりなどに取り組んでいきます。

主要政策

- | | |
|------------------------|------------------|
| ○ 地震に強いまちづくり | ○ まちの安全・安心の確保 |
| ○ 自助・共助・公助の連携による防災力の向上 | ○ まちの元気創出 |
| ○ 豪雨・土砂災害対策 | ○ 多摩・島しょ地域のまちづくり |
| ○ 都市インフラの長寿命化・更新 | |

セーフシティの主要政策の方向性

地震に強いまちづくり

地震が起ころっても、倒れない・燃えない

- 特定緊急輸送道路沿道の建築物や住宅などの耐震化、木造住宅密集地域の不燃化を進めます。
- 電柱のないまちを目指し、都道や区市町村道の無電柱化を進めます。
- 橋や上下水道施設、河川・港湾施設の耐震化などを進め、まちのライフラインを確保します。

自助・共助・公助の連携による防災力の向上

災害の時でも、困らない・独りではない

- 災害時の迅速な救出・救助や、支援物資が被災者にスムーズに届く体制をつくります。
- 災害時に食料や飲み物に困らないよう、家庭や企業での備蓄を進めます。
- 消防団や町会・自治会、自主防災組織による地域の防災力の向上を図ります。

豪雨・土砂災害対策

大雨が降っても、あふれない・くずれない

- 集中豪雨でも水害が起きないように、河川や下水道の整備を進めます。
- リアルタイムでの情報発信、官民が連携した大規模地下街の浸水対策など、都市型水害への対策を進めます。
- 避難体制の確立やがけ崩れを防ぐなどの土砂災害対策を進めます。

セーフシティの主要政策の方向性

都市インフラの長寿命化・更新

しっかりと管理するので、まちの機能がかわらない

- 橋や道路などを適切に補修・補強することで、インフラの安全性と健全度を保ち、寿命を延ばします。
- 上下水道施設や首都高速道路などを計画的に更新します。

まちの安全・安心の確保

どこにいても、守られているから怖くない

- 防犯カメラの設置や官民一体となったテロ対策、サイバー攻撃対策を進めます。
- 防犯ボランティアの活動の活性化を図るなど、地域における身近な犯罪等への対策を強化します。

まちの元気創出

身近な地域が、活気に満ちて住みやすい

- 商店街や町会・自治会など地域のコミュニティを活性化し、まちの活力を高めます。
- 空き家の有効活用や適性管理に取り組む区市町村を支援するなど、住みやすい環境をつくれます。

多摩・島しょ地域のまちづくり

安全・安心で、活力ある多摩・島しょ

- 多摩山間・島しょ地域における災害時の代替ルートとなる道路の整備や土砂災害対策などを進めます。
- 島しょ地域での地震・津波対策や火山災害対策などを進めます。
- 多摩ニュータウンなどの大規模住宅団地の再生や、駅などを中心としたまちづくりを進めます。

ダイバーシティ 女性も、男性も、子供も、シニアも、障害者もいきいき生活できる、活躍できる都市・東京

誰もがいきいきと暮らせる、活躍できる、働ける、学べる、安心して子育てができる、そして、誰に対しても温かく、優しい東京をつくります。

- 誰もが希望と活力を持てる東京の基盤となるのは、都民一人ひとりが存分に躍動できる環境です。“ダイバーシティ”、すなわち、「女性も、男性も、子供も、高齢者も、障害者もいきいきと生活できる、活躍できる都市」「多様性が尊重され、温かく、優しさにあふれる都市」の実現を目指します。
- 女性も男性も輝く社会を実現するため、待機児童の解消をはじめとする子育て環境の充実や、働き方改革を進め、「ライフ・ワーク・バランス」を社会全体で実現します。
- 年齢を重ねても住み慣れた地域で安心して暮らせる社会、そして、質の高い医療を受けられ、生涯を通して健康に暮らせる社会を実現します。
- 障害がある人もない人も、お互いに尊重し、支え合いながら共に生活する社会の実現、ユニバーサルデザインのまちづくりやボランティア文化の定着など、誰もが優しさを感じられる東京をつくります。
- 若者・女性・高齢者などの働く希望を叶えるとともに、東京の未来や日本の成長を支える人材の育成、スポーツの振興にも取り組んでいきます。

主要政策

- | | |
|--------------------|------------------|
| ○ 子供を安心して産み育てられるまち | ○ 誰もが活躍できるまち |
| ○ 高齢者が安心して暮らせる社会 | ○ 誰もが優しさを感じられるまち |
| ○ 医療が充実し健康に暮らせるまち | ○ 未来を担う人材の育成 |
| ○ 障害者がいきいきと暮らせる社会 | ○ 誰もがスポーツに親しめる社会 |

ダイバーシティの主要政策の方向性

子供を安心して産み育てられるまち

安心して産み育てられ、子供たちが健やかに成長できる

- 保育サービスの拡充や保育人材の確保に取り組み、待機児童の解消を目指します。
- 妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援により、安心して子供を産み育てられる環境をつくれます。
- 周産期・小児医療体制の充実を図ります。

高齢者が安心して暮らせる社会

年齢を重ねても、住み慣れた地域で安心して暮らせる

- 在宅サービスの充実や介護予防の推進を図るとともに、介護人材の確保などに取り組みます。
- 特別養護老人ホームや介護老人保健施設、サービス付き高齢者向け住宅など、高齢者の施設やすまいの整備を促進します。
- 専門職で構成するチームが認知症の高齢者を訪問・支援するなど、認知症の人とその家族が、地域で安心して暮らせるよう取組を進めます。

医療が充実し健康に暮らせるまち

質の高い医療を受けられ、生涯を通して健康でいられる

- 超高齢社会に対応できるよう、在宅療養体制や救急医療体制などの医療提供体制の充実や医療人材の確保に取り組みます。
- 都民一人ひとりの主体的な健康づくりや、糖尿病やがん等の生活習慣病対策を進めます。

ダイバーシティの主要政策の方向性

障害者がいきいきと暮らせる社会

障害がある人もない人も、**お互いに尊重し、共に生活する**

- 地域居住の場や日中活動の場の整備など、障害者が地域で安心して生活できる環境づくりを進めます。
- 障害者が能力や適性に応じて安心して働き続けられるような支援を行います。
- 障害のある子供たちの個性や可能性を伸ばす教育を進めます。

誰もが活躍できるまち

誰もが人生と仕事を調和させ、**自分らしく活躍できる**

- 長時間労働の解消や休暇取得の促進など、生活と仕事の両立に向けて、働き方の見直しを進めます。
- 技術面や働き方などの一体的な検討による、鉄道の混雑緩和対策を進めます。
- 働きやすい職場づくりやライフステージ・キャリアに合った就業など、女性の活躍を支援します。
- 多様な就業ニーズを持つ高齢者と企業とのマッチングを進め、高齢者が生涯現役で活躍できるよう支援します。
- 不本意な非正規雇用者の正規雇用化や処遇改善、人材育成を支援します。

誰もが優しさを感じられるまち

いたるところで、**まちの優しさを感じられる**

- 道路のバリアフリー化や駅のホームドアの整備など、すべての人に優しいユニバーサルデザインのまちづくりを進めます。
- 東京2020大会を契機に、ボランティア文化の定着に向けた取組を進めます。
- 多様性が尊重され、人権が守られる社会の実現を目指します。
- 動物の殺処分ゼロに向けた取組を進めます。

ダイバーシティの主要政策の方向性

未来を担う人材の育成

未来のために、自らの意志で学べる

- 家庭の経済状況などに左右されことなく、すべての子供が将来への希望を抱いて学び続けられる教育環境をつくれます。
- 学校マネジメント力の強化により、専門家や地域との連携・協働を図り、学校教育の質の向上を実現します。
- 英語をはじめとする外国語教育や理数教育など、世界を舞台に活躍できるグローバル人材や東京・日本の成長を支える人材を育てます。
- ひきこもり、ニートなど様々な問題を抱える子供・若者の社会参加を支援します。

誰もがスポーツに親しめる社会

都民一人ひとりが、スポーツに親しめる

- 東京2020大会やラグビーワールドカップ2019™に向けた開催準備を進め、日本全体の開催気運を高めます。
- 東京2020大会などの国際大会で活躍するアスリートを発掘・育成・強化します。
- 地域でスポーツを楽しめる環境整備やスポーツ活動を推進する企業への支援など、身近で気軽にスポーツを楽しめ、スポーツの裾野を拡大する取組を進めます。
- 障害者スポーツの理解や普及の促進に加え、スポーツ施設のバリアフリー化や身近な地域での場の拡大など、障害がある人もない人も共にスポーツを楽しめる環境を整えます。

世界のメガシティとして、日本の首都・経済のエンジンとして、大都市が抱える課題を解決し、そして、国際的な都市間競争に勝ち抜く成長を生み続け、活力にあふれ、サステイナブルな東京をつくります。

- 激化する国際的な都市間競争に勝ち抜き、世界の中で輝き続け、日本の成長のエンジンであり続けるサステイナブルな東京を実現していくため、タイムリーな成長戦略を果敢に展開することが必要です。
- 東京2020大会を契機に、低炭素社会の実現に向けた環境技術の更なるイノベーションや、食品ロス対策を含めた環境配慮型ビジネスモデルへの改革を促します。
- 国際金融都市・東京の実現や、中小企業の技術革新、起業・創業の促進、外国人旅行者の受入環境整備など、東京ひいては日本の持続的な成長を生み出す取組を積極的に行います。
- 2020年以降も見据えて、陸・海・空の交通・物流ネットワークを一層充実させ、東京の都市活動を支える交通インフラを強化します。

主要政策

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ○ スマートエネルギー都市 | ○ 交通・物流ネットワークの形成 |
| ○ 快適な都市環境の創出 | ○ 多様な機能を集積したまちづくり |
| ○ 豊かな自然環境の創出・保全 | ○ 世界的な観光都市 |
| ○ 国際金融・経済都市 | ○ 芸術文化の振興 |

スマート シティの主要政策の方向性

スマートエネルギー都市

世界をリードする、スマートエネルギー都市を目指そう

- 住宅・ビルなどにおける、LED照明をはじめとする省エネ機器の普及に向けた取組を進めます。
- 家庭のエネルギー消費量の削減に向け、エコハウスの普及を図ります。
- 次世代自動車、水素ステーション、家庭用燃料電池などの導入を支援します。
- 太陽光発電など、再生可能エネルギーの導入を拡大します。

快適な都市環境の創出

クール・クリーンで、快適な都市をつくろう

- 東京2020大会に向けた暑さ対策などに集中的に取り組めます。
- 食品ロスの削減などを推進し、“もったいない”の意識のライフスタイルへの定着を進めます。
- 河川・運河などの水質改善や大気環境の更なる改善を進め、東京の快適な都市環境を次世代に継承します。

豊かな自然環境の創出・保全

水と緑に囲まれた、自然を感じられるまちをつくろう

- 公園や街路樹の整備、水辺の緑化などを進め、花や緑でまちを彩ります。
- 都市農地の保全・活用、多摩の森林の保全・再生など、都内に残された貴重な緑を守ります。

スマート シティの主要政策の方向性

国際金融・経済都市

日本経済を牽引する、国際金融・経済都市を目指そう

- 資産運用業やフィンテック企業を中心とした外国企業の誘致など、国際金融都市・東京の実現に向けた取組を進めます。
- 国家戦略特区制度を徹底活用し、国際ビジネス環境や外国人の生活環境の整備を進めます。
- ベンチャー企業の更なる成長や若者・女性・高齢者など幅広い層の起業・創業を支援します。
- 中小企業の海外展開や事業承継・事業再生などを支援します。
- 東京産の農産物や伝統工芸品など、東京のブランディングを推進し、国内外に発信します。

交通・物流ネットワークの形成

ヒトやモノの流れがスムーズな都市をつくろう

- 三環状道路、骨格幹線道路などの広域的な道路ネットワークや公共交通ネットワークの整備を進めます。
- 国内外の物流拠点としての東京港の機能を強化します。
- 増大する航空需要に対応するため、羽田空港の容量拡大や国際化を一層進めます。
- 安全で快適な自転車利用環境や水上交通ネットワークの充実を図ります。

スマート シティの主要政策の方向性

多様な機能を集積したまちづくり

首都東京の成長を支える、活力あふれるまちづくりを進めよう

- 民間事業者による都市再生プロジェクトや都有地を活用した拠点づくりを進め、都市機能の高密度な集積を図ります。
- 都心の拠点駅などにおいて、周辺のまちづくりと一体となった整備を進めます。
- 首都東京にふさわしい景観をつくり、風格のあるまちづくりを行います。

世界的な観光都市

世界中の人々をひきつけ、歓迎する、観光都市になろう

- 東京を訪れる外国人旅行者を、リピーター客も含めて大幅に増やします。
- 東京を訪れる人の観光消費を促し、観光を東京の有力産業へと発展させていきます。
- 多言語対応やICTを活用した観光案内など、外国人旅行者が快適に滞在できる環境を整備します。
- 多摩・島しょなど、東京が持つ多彩な魅力を活かし、地域ならではの観光資源を発信します。

芸術文化の振興

伝統と現代が融合する、世界のどこにもない、文化都市を目指そう

- 「東京キャラバン」をはじめとする、東京2020大会に向けた様々な文化プログラムを展開します。
- 世界に通用する若手芸術家の発掘・育成や誰もが気軽に参加できる芸術文化イベントの開催などを支援します。
- 都内各地域の芸術文化資源の集積を活用し、芸術文化拠点の魅力を高めます。

分野横断的な政策の展開

「東京2020大会の成功に向けた取組」「多摩・島しょの振興」は、分野横断的に政策を展開していきます。

東京2020大会の成功に向けた取組

- ラグビーワールドカップ2019™と一体となった取組
- 競技会場・選手村の整備
- 開催気運の醸成
- 被災地復興支援
- 暑さ対策
- テロ・防災対策
- 文化プログラムの展開
- オリンピック・パラリンピック教育
- バリアフリー化の推進
- 多言語対応
- アスリートの発掘・育成・強化
- ボランティアの育成

など

多摩・島しょの振興

- 地震・津波対策
- 土砂災害対策
- 駅などを中心としたまちづくり
- 多摩ニュータウン等大規模団地の再生
- 交通インフラの整備
- 産業振興・産業集積
- 観光振興
- 農林水産業振興
- 豊かな自然の保全
- 福祉・医療サービスの充実

など

「Beyond2020」 東京の未来に向けて

計画期間である2020年の更にその先に目を向け、科学技術の飛躍的な進歩や個人の意識の大きな変化などを通じた、明るい東京の未来についても検討しています。

都民の皆様が考える、「東京の理想の姿」「未来の生活像」などについて、アイデアをお寄せ下さい。

実行プラン（2017～2020）

セーフ シティ

ダイバーシティ

スマート シティ

新しい東京

持続可能な成長

東京の未来に向けて（「Beyond2020」）

東京の未来に大きな影響を与える事柄の例

- 科学技術の進歩（IoT、AI、自動運転、ロボット 等）
- 働き方・ライフスタイルなどの大きな変化
- 規制緩和 ○ 超高齢社会の進展
- 東京2020大会の成功とレガシーの継承

例えば、

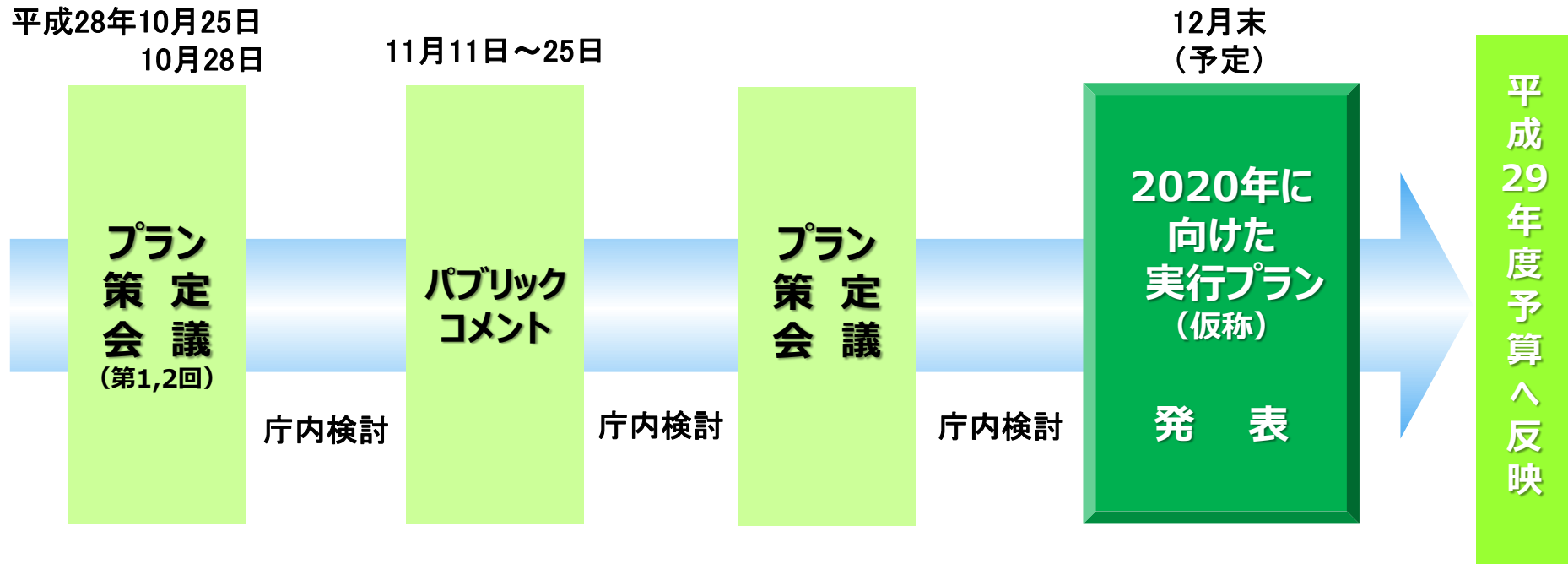
- ・待機児童や長時間労働は死語になっている
- ・自動翻訳機で誰もが世界中の人と交流できる
- ・医療技術の進歩でいつまでも健康に過ごせる
- ・自動運転車で移動がスムーズに

など

プランの策定スケジュール

都民の皆様からご意見やアイデアを頂きながら、各政策における、目標、4か年の政策展開、年次計画などを具体化し、平成28年12月末を目標にプランを発表する予定です。

【具体的なスケジュール】



ご意見・アイデアの募集期間と提出方法

募集期間：平成28年11月11日（金）～ 11月25日（金）

提出方法：Eメール ml-seisakukikaku-keikaku@section.metro.tokyo.jp

郵送 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 東京都政策企画局計画部計画課宛て

FAX 03-5388-1210

みんなで東京の未来を創りましょう。